



ごあいさつ

平素より、当気仙沼信用金庫に対し格別のご愛顧とお引立てを賜り、誠に有難く心より御礼を申し上げます。

ここに、当金庫の経営方針をはじめ業務内容、財務内容等をより一層ご理解いただくため「気仙沼信用金庫ディスクロージャー誌2012」を作成いたしましたので、ご覧いただければ幸いです。

さて、平成23年度は3月11日に発生した東日本大震災からの復旧・復興に全力を傾けた年度でありました。

この震災において当地域は未曾有の被害をうけ、当金庫も10店舗と役職員全員が被災者となりましたが、地域の皆様や監督官庁であります金融庁、東北財務局をはじめ上部団体の全国信用金庫協会、信金中央金庫、また、全国の信用金庫など国内の多方面から温かい支援を頂戴し、それが励みとなり頑張ることができました。

震災直後、ライフラインが断たれた中でも地域金融システムを守る一念でいち早く一時払い等を実施、各種金融支援・相談も被災されたお客様の立場に立って細やかな対応を行って参りましたことで、地域密着型である信用金庫の存在意義が改めて認識され、地域内はもとより全国各地から数多くの高い評価が寄せられました。

このことに信用金庫で働く者としてとても喜びを感じておりますとともに、偏に皆様方のお力添えがあつてのことと改めて感謝申し上げます。

震災から1年4ヶ月余り経過しましたが、地域経済は復興需要により建設関連産業が上向き、また、仮設店舗における小売、飲食業の開店など明るい話題もある反面、基幹産業である漁業、水産加工業、観光産業等においては市街地復興計画の遅れなどが影響し、震災前の状態に戻すにはもう少し時間を要すると思われ、それに伴う人口流出や雇用のミスマッチによる生産性の低下、消費意欲減退という現状を払拭できないまま推移してきております。

当金庫は、震災発生以前から信用金庫の根本である地域経済の発展に寄与することを第一として業務を運営して参りました。震災により地域、お取引先のニーズが一層多様化するとともに取組むべく課題も増えましたが、それに応え、解決していくことが私たちの使命と認識しておりますし、対処できる盤石な自己資本を金融機能強化法に基づく優先出資の発行により構築しておりますので、安心してお取引、ご相談頂きたく存じます。

一日も早く活気溢れる地域に再生するためにも、金融円滑化・金融仲介機能の更なる発揮や相談・支援態勢の充実、お客様の利便性向上などを目指し努力をして参る所存でありますので、皆様方には今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げまして挨拶といたします。

平成24年7月

気仙沼信用金庫
理事長 菅原 務

